



## 簡易強制通風筒 (RSVH タイプ)

### 取扱説明書 (RSVH01A1203 末尾ケーブル長 3m)

Rev 10 2015年6月

----- 内容 -----

- 1 概要
- 2 センサーの取り付け方法
- 3 設置方法
- 4 配線方法
- 5 仕様
- 6 保証規定



縦型設置

横から吸い込み



# 1. 概要

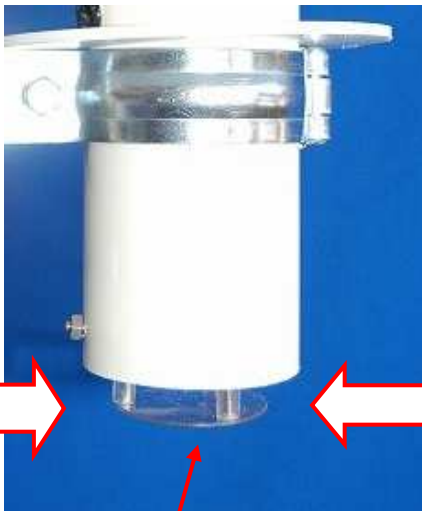
RSVH タイプの強制通風筒は縦型ながら横からの吸い込みタイプです

## 従来一般的な横型との違い

- 1：風向の影響を受けにくい
- 2：全長短縮、軽量化となる（雨の横からの吸い込み対策に有利な構造）  
多層多チャンネルの測定に向いている  
設置スペースが小さくなる

## RSF シリーズの基本性能を継承、

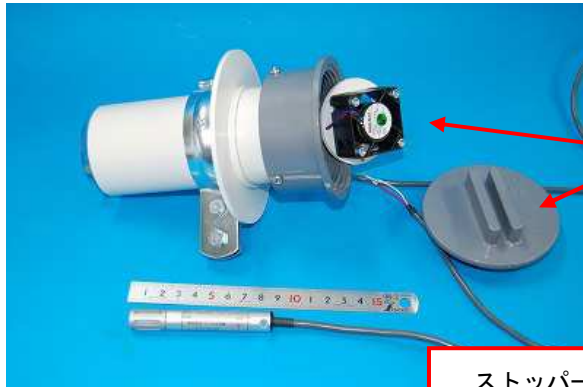
- 1：ファン風量センサー口で風速 3m/s 以上
- 2：国産ファンを採用しました。  
オプションで耐湿ファンに改造致します
- 3：樹脂製のシールド構造です。
- 4：ファンには砂噛み防止ネットが標準装備です。



横方向吸い込み整流板



## 2. センサーの取り付け方法



トップキャップを緩めて外します

ファンを取り出します

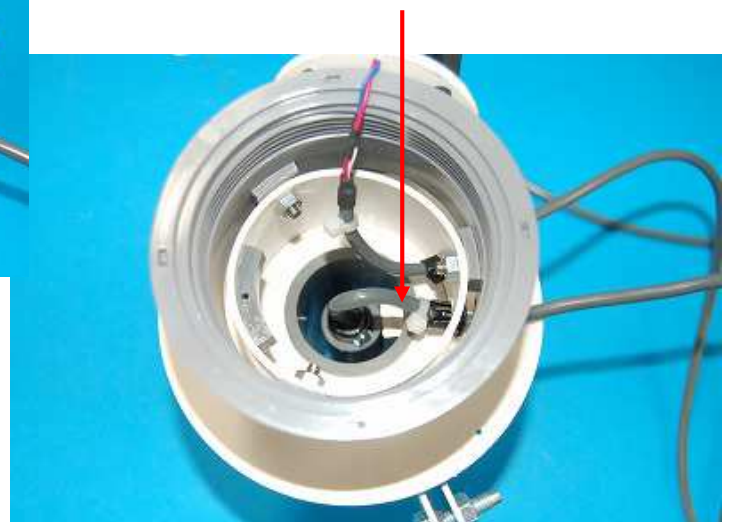
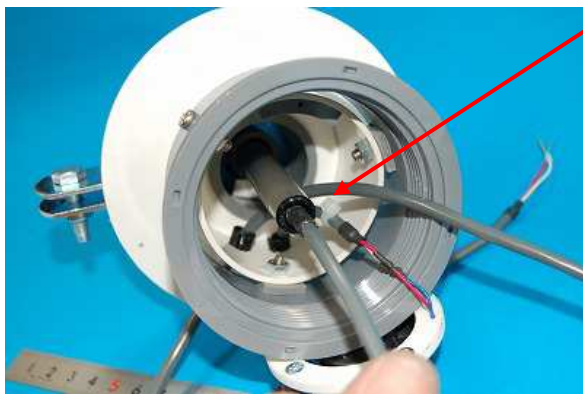
ストッパー



1: センサケーブルを通す

2: 中央のホルダーセンサーを落とし込む  
当社温湿度センサーにはストッパーが付属  
他社センサー使用時は  
ストッパーの無い他社品ではインシュロックタイ等にて鉢巻きで代用下さい  
(VAISALA 社 HMP60 等)

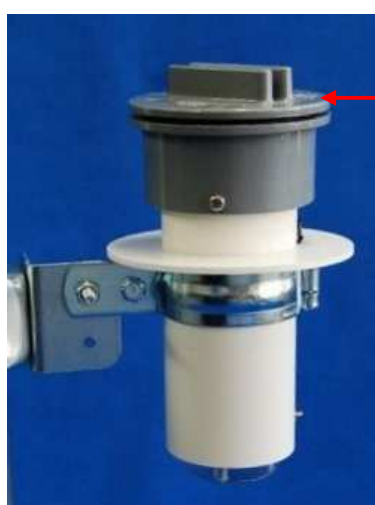
3: ケーブル根元にインシュロックタイを巻き付けます  
(ケーブルの引き出し過ぎを防止)





取付ビスガイドマーカ

- 4 : ファンを取付ます  
取付タッピングビスを締めて固定  
(ビス孔位置 : 取付ビスガイドマーカ)
- 5 : トップキャップを締め込みます
- 6 : ポールに取りつけます  
次ページ写真参照



トップキャップを  
締めた状態

#### 砂噛み防止フィルターに付いて :

通常ではほとんど必要ありませんので  
下記の場合にお付け下さい

フィルターは砂漠などで使用します  
回転羽根と本体間のスキマとピッタリサイズの小石が飛び  
込み時の回転羽根のロック防止が目的です  
小石のサイズと軽さ、タイミングが合致する確率になります。

フィルターの作成例 :

家庭用換気扇のフィルターをカットして使用します。  
トップキャップ程度のサイズにカットします、  
ファン電源部に切り込みを入れます  
ファンの羽根触れない無いうように張りながら押し込  
みます。

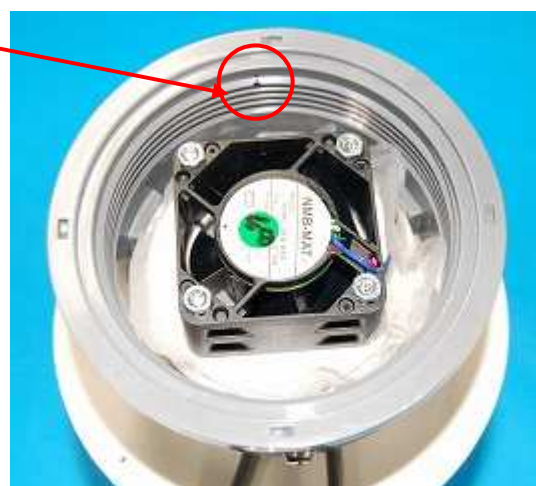
最後にビスを締めます

(取付ビスガイドマークを参考に)

ファンを通电し、回転羽根とフィルターとこすれ異音  
の無い事を確認します

サンプルは要望があれば納品時に  
同梱で提供します

ファンの取付 (砂噛み防止フィルターを押さえながら)



### 3. 設置方法

通風筒を**北面側**に設置します（太陽日射を避けるため取付パイプの影になる様に）



#### ポールへの取り付け例

水平ポールに  
垂直ポールに  
斜めポールに

48.5φポール（メジャーな単管）  
38φポール  
25φポール

自在タルキクランプ等の市販品例を紹介します（別途準備願います）



T字足  
T金具

38φ  
タルキクラン

48.5φ  
タルキクラン

自在クランプ各種サイズが市販されております

48.5φ（いわゆる単管）  
31φ、38φ、25φ（インチ管）用

これらのキーワードにて検索してみてください

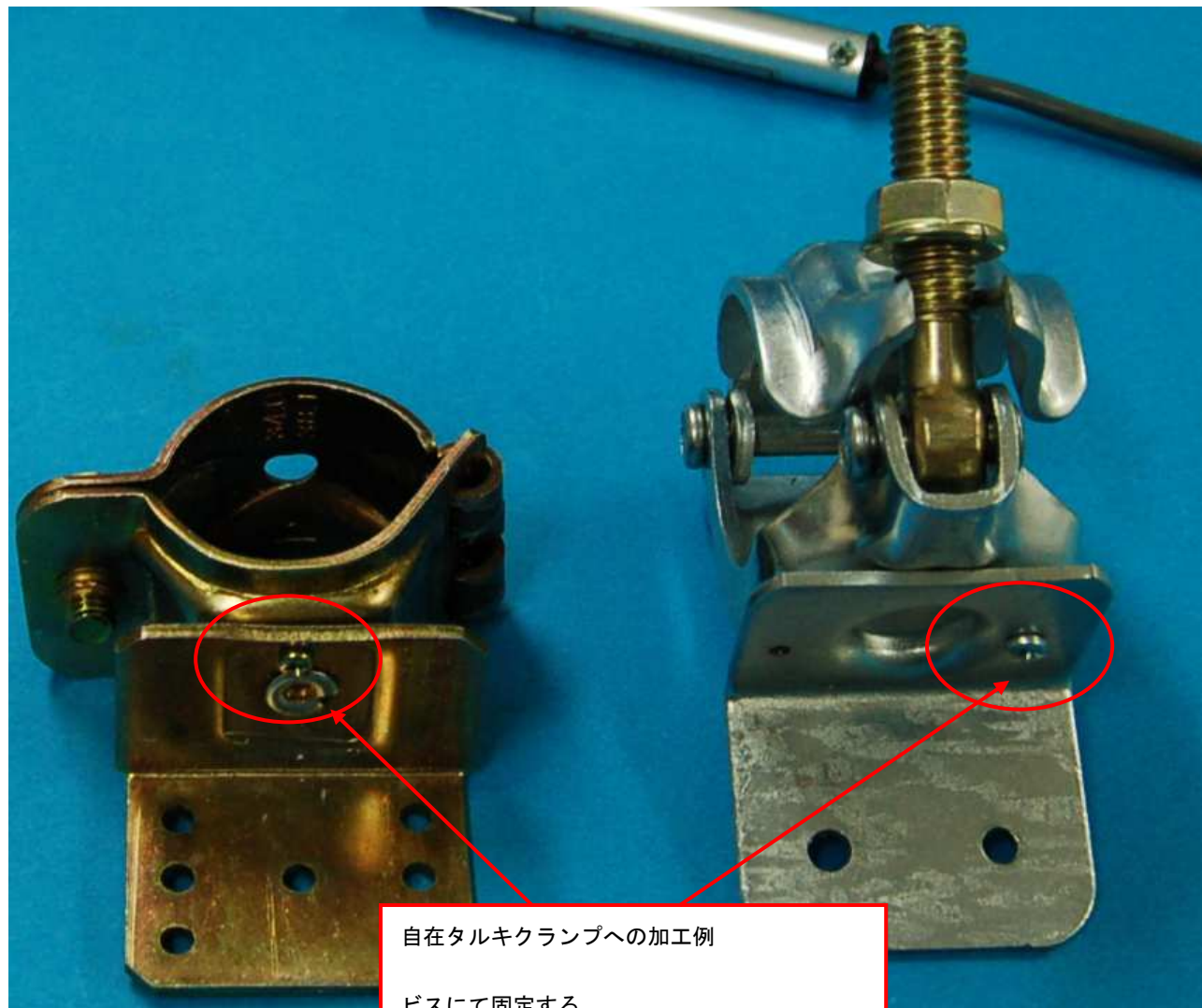
T字足に孔加工を加えると

ステンベルト、Uボルトが使用できます これらもホームセンタ等で入手可能です

T字足そのまま使用

T字足の孔にステンレスワイヤを通してポールに固定する

長さ違いのT字足2個を角度付けて上記の方法でポールに固定する



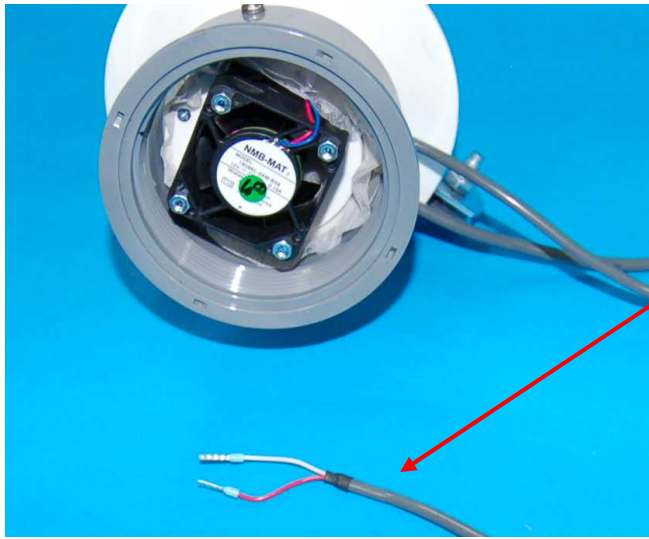
自在タルキクランプへの加工例

ビスにて固定する  
(ビスナット、タッピング等)  
電気ドリル等の工具が必要となります

出荷時当社での加工も承っております  
取り付け仕様と共に注文時、申し付け下さい  
(別途部品代作業代が必要となります)

## 4. 配線方法

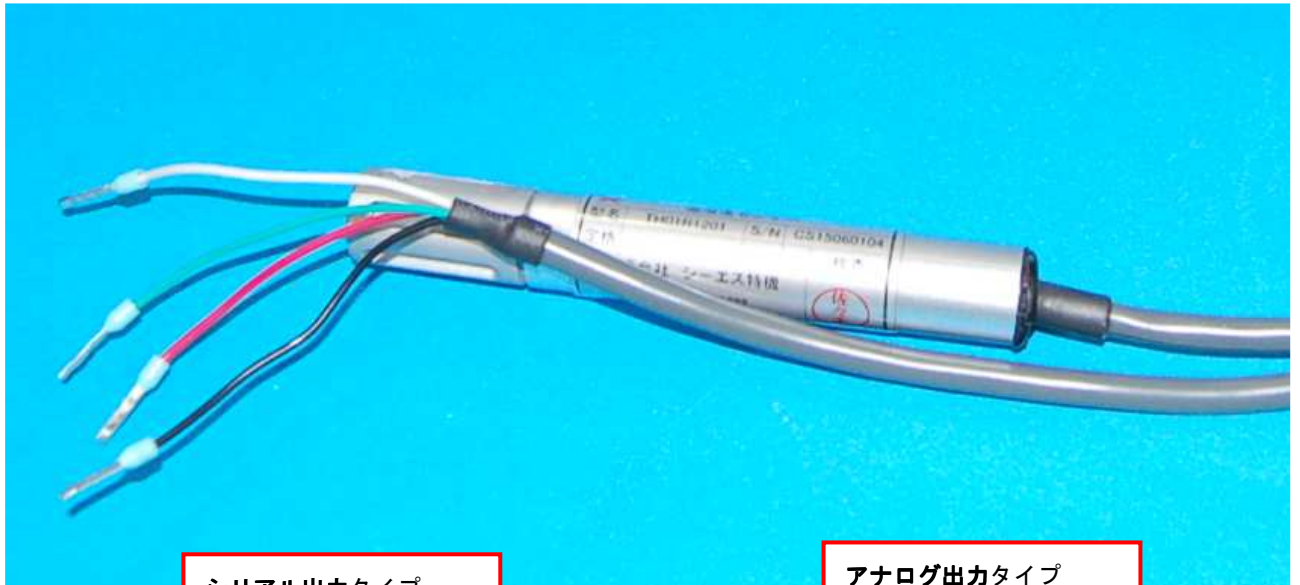
### ファンの配線



+12V : 赤に接続  
GND : 白に接続

間欠動作の場合の動作設定例  
測定開始前 1 ~ 10 分前に通電します  
センサーの応答時間に依存します

### センサーの配線 (HT01 シリーズ)



#### シリアル出力タイプ

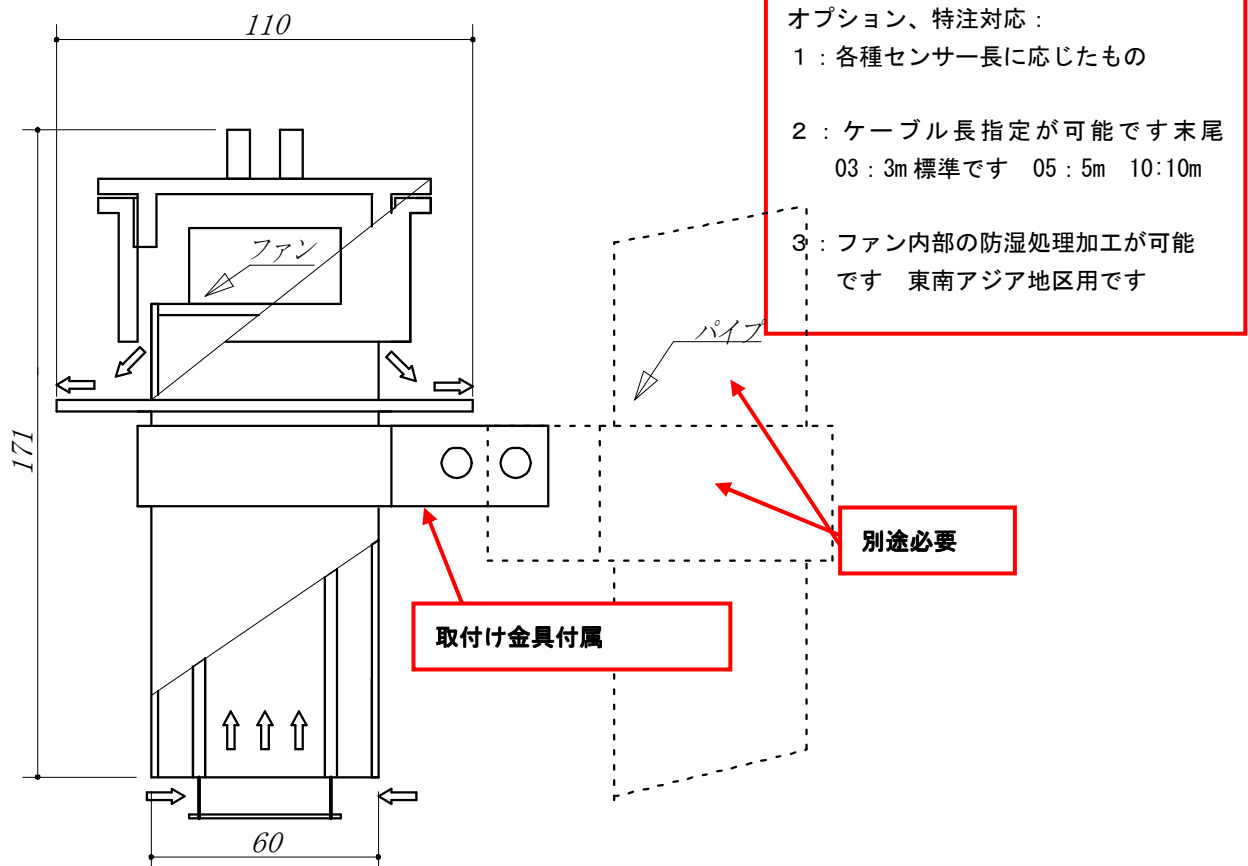
**HT01R12\*\*** \*\*はケーブル長 m 単位 03 では 3m  
+12V : 赤に接続  
GND : 黒に接続  
緑 : Rx 入力です、機器側は Tx に接続  
垂れ流しのため未接続でも可能  
白 : Tx 出力です 機器側は Rx に接続  
1 秒毎に 543,245[CRLF] ( 54.3%RH +24.5°Cの例)  
通信速度 : 9600BPS 8bit NonParity  
更新レート : 1 秒

#### アナログ出力タイプ

**HT01A12\*\*** \*\*はケーブル長 m 単位 03 では 3m  
+12V : 赤に接続  
GND : 黒に接続  
緑 : 湿度出力です 0-100%RH/0-1V  
白 : 温度出力です -30~+70°C/0-1V  
  
電源 ON 後 1 秒後より  
更新レート : 1 秒

## 5. 仕様

項目	RSHV01A12** センサー付属せず	RSHV_HT01#12** HT01A12**センサー付き
適用センサー	標準：12φ80mm程度まで 最大：ケーブル折り曲げ状態で先端から105mm HMP60使用可能 特注加工も可能です（HMP155用等）	
風速風量	3m/s以上 センサー径による	3m/s (0.13m <sup>3</sup> /min)
材質 構造	縦型 横方向からの吸い込み方式 2重塩ビによるシールド構造	
ファン寿命	2.5万H 1000日相当（常温常湿 設計寿命）	
電源	12V/0.11A(TYP)	
電源電圧範囲	ファン自体では7V~13.8Vまで	
動作環境	-10 ~ 60℃ 0~85%RH	
保存環境	-25 ~ 70℃ 0~85%RH	
取付可能パイプ径	別途タルキクランプ、T字金具等が必要 例：25φ、38φ、48.5φ用	
外形重量	171（長さ）*110（径）mm 詳細は下図参照 約0.5kg（ケーブル長：1m 当社センサー及び取付け金具含む）	





## 6. 製品保証規定

---

### 製品保証

- 本製品の保証期間は納品から1年間です。
- お客様での組込作業に伴い発生した不具合は保証の対象外となります。
- 取扱上のミスによるもの、落雷、誘導雷等の天災などによる故障は保証の対象外となります。
- 設置場所におけるいたずら、盗難なども保証の対象外となります。
- 内蔵するプログラムによって発生するいかなる障害についても保証できません。
- 本品自体の故障に伴うデータの欠落、本品に接続され使用されていた他の機器、システムに対するいかなる影響も保証の対象外とさせていただきます。
- 本製品の保証は、日本国内に限定させていただきます。

株式会社 **シーエス特機** ( <http://www.cstokki.co.jp> Mail to: [info@cstokki.co.jp](mailto:info@cstokki.co.jp) )  
(本社) 〒065-0024 札幌市東区北24条東8丁目3-25 TEL:011-748-1322 FAX:011-748-1323  
(東京事務所) 極地観測技術研究室 文化財計測技術研究室  
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-30-17 TEL : 042-339-7022 FAX : 042-339-7023